

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ岩間支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%	0%	広いスペースで利用者様がのびのび活動が出来る、トレーニングスペースでは、極力邪魔な物は排除して、体を動かせる範囲を広くとっている。
	② 職員の配置数は適切であるか	25%	50%	25%	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	29%	29%	43%	段差がある箇所は足場を用意して、怪我に繋がらない様にしている。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	75%	13%	13%	
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	13%	0%	ミーティングにて保護者様の意見を周知し、支援に反映している。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%	0%	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	20%	20%	
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	88%	13%	0%	虐待防止は勿論の事、嘔吐対応など、幅広く研修を行っている。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	88%	0%	13%	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	71%	29%	0%	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	13%	13%	カリキュラム委員会からカリキュラムを立案し、教室内で担当者を決めて、繰り返しの内容にならない様にしている。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	75%	25%	0%	過去に行ったカリキュラムの内容を保存し、繰り返しにならない様に工夫をしている。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	63%	25%	13%	平日と休日ではカリキュラムの内容を変更し、利用者様が楽しく通所出来る様に工夫している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	88%	13%	0%	
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	38%	38%	25%	支援開始前に小ミーティングを行い、業務改善を行う。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	0%	25%	気付いた事など、終了時に伝達するようにしている。周知する内容はグループに周知すると共に、連絡ノートへ記載している。支援内容などは教室ミーティングにて共有をしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	63%	13%	25%	体温・トイレの回数など日常の記録を徹底していると共に、毎日の記録を徹底して記入している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	88%	13%	0%	都度モニタリング用紙に記入を行い、見直しを行っている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	71%	29%	0%		
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%	0%		

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	86%	14%	0%	
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	83%	17%	0%	
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	86%	14%	0%	
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	67%	33%	0%	
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%	0%	
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	33%	50%	17%	地域との連携を深め、発表の場を増やして活動する機会を作ります。
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	86%	0%	14%	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	71%	29%	0%	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	50%	17%	
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%	0%	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	86%	14%	0%	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67%	33%	0%	
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	13%	0%	
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	25%	0%	
	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	88%	13%	0%	
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60%	20%	20%	長期休み期間に地域で活動している方を招待し、カリキュラムを行った経緯があるので、今後はそのような活動を増やして地域住民との関わりを増やしていく。
非常時の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%	0%	
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	88%	13%	0%	
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	86%	14%	0%	
	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	86%	14%	0%	
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	